



ひろみち 竹内 弘通 さん (65)

# まくひとしごと 枕崎 × 人 × 仕事 No.37

## NPO法人海辺の里枕崎福祉作業所/平田町

「枕崎 × 人 × 仕事」では、枕崎にあるさまざまな仕事と、その仕事に携わる人を紹介します。今月は、NPO法人海辺の里枕崎福祉作業所取材しました。



本市で暮らす障害者やその家族を支援する地域活動支援センターⅠⅢ型の施設として、平成19年に設立された海辺の里枕崎福祉作業所。利用者それぞれのペースで通所し、椎茸の足切りや鯉パックの袋詰めなどの作業を行い、社会参加や生活に寄り添った支援を行っています。今回は、そんなNPO法人海辺の里枕崎福祉作業所(以下、海辺の里という)で理事長を務める竹内弘通さん取材しました。坊津町(現南さつま市)出身の竹内さんは、坊泊小・中学校を卒業後、高校へ進学。その後、愛知県の大手企業へ就職しましたが、いずれは実家の跡を見ないといけないと考えていたことから、鹿児島県内の米問屋に再就職します。やがて、食糧管理法の改正に伴う市場開放により企

業の先行きに不透明さを感じ、枕崎市内の鯉節工場に転職。在庫管理や営業、事務などの業務を担当する中で、現在の仕事に繋がる鯉パックの袋詰め業務の発注先として、海辺の里の利用者とも関わりがあり、前理事長からの推薦で今年6月に理事長に就任しました。海辺の里での業務内容は、利用者の送迎から作業の進捗管理、経営から市役所とのやり取りまで多岐に渡ります。その中でも竹内さんが大事にしているのは「利用者とのコミュニケーション」。作業の合間に利用者や冗談を言い合ったり、世間話や他愛もない話題で積極的に語りかけます。作業所の利用者の中には不調を抱えやすい方もいて、作業中のちよつとしたやり取りでやる気を失ってしまうこともあります。そんな心の機微に気を配りながら、「明日もまた来たいな」という気持ちになれるよう前向きな声かけと雰囲気づくりをしていると話します。プライベートでは趣味の釣りを楽しんでいるという竹内さん。今後は「これまでの仕事の経験を活かして現在受けている業務を効率化し、みんなで楽しく働ける作業所づくりをしたい」と話しました。

地域おこし協力隊 活動レポート

# 協力隊が行く!



## 今月の担当は りんね隊員です!

こんにちは、地域おこし協力隊の中村琳音です。

枕崎もすっかり秋の空になり、少し肌寒くなりました。

季節の変わり目は体調を崩しやすいので、体を暖かくして体調管理に気をつけましょう!



Discover 南薩フォトコンテスト 2024開催中! 11/1~12/10. 「南薩地域の景観・暮らしに関する写真をInstagram上(以下、Instagram)で募集します。」

2024開催中! 広報紙10月号にも掲載されましたが、枕崎市地域おこし協力隊最終年度企画として、11月1日から12月10日まで「Discover 南薩フォトコンテスト2024」を開催中です!このフォトコンテストは、南薩地域(枕崎市・指宿市・南さつま市・南九州市)の景観、職、暮らしをテーマにしています。応募方法は、南浜館のInstagramアカウントをフォローし、指定のハッシュタグ「#南薩フォトコン」撮影場所を記載して投稿。賞として、企業協賛賞6点と入賞25点を準備しています。企業協賛賞を受賞された方には、各企業より枕崎の特産品をプレゼント!受賞作品は2025年1月19日から2月2日まで南浜館で展示される予定です。応募の際は、必ず応募要項と注意事項を確認してから投稿をお願いします。普段何気なく過ごしている場所にも、素敵な瞬間や魅力がたくさん詰まっています。南薩の美しい風景や、地域の暮らしを応募者独自の視点で捉えた新たな一面の発見を楽しみにしています。皆さんのご応募を心からお待ちしております。また、今回のフォ

トコンテストは、多くの方の支援によって実現しました。新卒で地域おこし協力隊になった私にとって、企画書作成や依頼などあまり経験したことのない事ばかりで、開催まで学ぶことが非常に多い日々でした。自分の中では問題ないと思っていたことの認識が甘く、さまざまな修正・訂正を経て開催することが出来ました。ご協賛いただいた企業をはじめ、関係者の皆様のご協力のおかげです。私一人ではこのようなイベントを開催することはできません。改めて感謝の気持ちをお伝えします。地域おこし協力隊としての任期も残すところわずか! 地域おこし協力隊として枕崎に来た当初は、前任協力隊を参考に、Instagramでの活動を始めました。写真を撮っては毎日投稿する日々でしたが、今では支えてくれる人たちのお陰で、写真展の開催・フォトコンテスト企画・特産品販売など自分のやりたいことを形にできるようになりました。失敗もありましたが、その一つ一つが私の成長の糧となりました。この経験を活かし、地域の魅力を発信し続けます。枕崎の素晴らしい方を多くの方に伝えていけるよう、最後まで全力で頑張ります!ぜひ皆さん期待してください!

## 市長

# コラム

vol.67



### 市民運動会

5年ぶりに市民運動会が開催されました。令和2年以降はコロナ禍で中止を余儀なくされ、さらに昨年はかごしま国体が開催されたことで中止となっていました。

市民運動会の初開催は昭和41年です。現在と同じく、塩浜グラウンドで開催されています。当時の広報紙を見ると、「市民体育祭」という名称で約3000人が参加したと記されています。競技内容は小中学校の走る、跳ぶ、投げるの種目、一般の公民館対抗リレー、婦人会リレー、消防団ボール蹴り、PTAの玉入れ青年団運動競走、来賓役員の二人三脚、婦人会やスポーツ少年団によるマゲーム、健康体操講習など盛りだくさんの種目があったようです。昭和41年は1回目の東京オリンピック開催から2年後、おそらく国内でも市民スポーツが盛んになった頃だと想像します。当時の盛り上がりが目に見えます。

これまでも、夏休みが終わり、学校の2学期が始まると9月に高校の体育祭、中学校の体育大会、10月に入ると小学校の運動会が開かれた後、運動会シーズンの最後を飾る市民運動会が開催されるという流れの中、この初秋の地域イベントは、子どもから大人まで校区や地域の絆を強くするとても大切なイベントでした。

そのような中、このところ参加公民館の減少やコロナ禍での中止など、新たな局面を迎えた感がありましたが、今年の市民運動会は、参加していただいた市民の一体感を感じる大会でした。プログラムの競技は当然ですが、私は特に昼食時の「枕崎音頭」や閉会式まで多くの方が参加していただいた点などが心に残りました。市民運動会をこれからも大切に育み、来年以降、さらに参加者が増えるように頑張っていきたいものです。

## ART ORIGATION 2024

県内外で多種多様な視点で日々創作活動に励む本県ゆかりのアーティストの作品展です。公募形式で選ばれた5名のアーティストの作品をお楽しみください。

## 第4回枕崎国際芸術賞展作品募集

平成28年度から3年に1回開催している現代アートの国際コンクール「枕崎国際芸術賞展」の第4回展の開催が決定しました。

下記の期間にて作品を募集します。

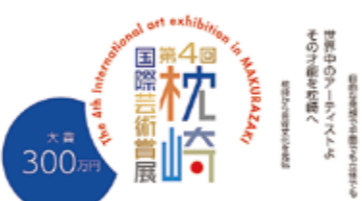
詳細は、枕崎国際芸術賞展特設ホームページをご確認ください。



▶枕崎国際芸術賞展 特設ホームページ

- 日時 11月30日(土)~12月24日(火) ※月曜日休館
- 観覧料 一般200円、高校・大学生100円、中学生以下無料
- 出品アーティスト きはらごう、米倉秀紀、池翔太、森島里香、櫻井彰真、小野あさみ

## 募集



- 作品募集期間 令和7年1月8日(水)~3月25日(火)
- 展覧会 令和7年7月21日(月・祝)~9月15日(月・祝)会期中無休

## スポーツ・文化 イベント情報

南浜館

開 9:00 ~ 17:00 ※入館は16:30まで

休 毎週月曜日 ※月曜日が祝祭日の場合は翌日

問 スポーツ・文化振興課 TEL72-9998